

湖西市環境センター
基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業
事業者選定基準書

令和2年4月6日
湖西市

湖西市環境センター
基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業
事業者選定基準書

目 次

1. 総則	1
2. 事業者の選定方法	1
3. 審査の枠組み	1
1) 資格審査	3
2) 提案審査	3
4. 非価格要素審査及び価格審査における点数化方法	4
1) 非価格要素審査における点数化方法	4
2) 価格審査の点数化方法	6

1. 総則

本事業者選定基準は、湖西市（以下、「本市」という。）が湖西市環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業（以下、「本事業」という。）の事業者を募集・選定するにあたって、公募に参加しようとする応募者又は応募グループ（以下、「応募者等」という。）を対象に配布する公募説明書と一体となるものである。

本事業者選定基準は、本事業を実施する事業者を選定するにあたって、応募者等のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価・選定するための方法や評価項目を示し、応募者等が行う提案について、具体的な評価の方法及び評価の視点を示すものである。

2. 事業者の選定方法

事業者の選定方法は、本事業の特性を踏まえ、価格のほかに技術等の提案、事業の効率性への配慮等を総合的に評価する必要があることから、公募型プロポーザルにより実施する。

本事業は、基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託を実施するため、専門的な技術やノウハウにより、湖西市環境センター（以下、「本施設」という。）の延命化を図り、長期間において安全・安心な施設の運営を行うものである。そのため、基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託に関する技術、事業遂行能力及び提案価格を総合的に評価することにより優先交渉権者を決定し、優先交渉権者と基本協定の締結、契約協議、事業契約を行い、事業者を選定する。

3. 審査の枠組み

審査は、第1段階の「資格審査」、第2段階の「提案審査」で構成される。

資格審査では、応募者等の参加資格要件の確認を行い、参加資格要件を満たすことが確認できた応募者等だけが第2段階の提案審査を受けることができる。なお、提案審査を行う前に施設に対する考え方、安全対策や事業効率性の考え方等について競争的対話を実施する。

第2段階の提案審査は、「基礎審査」、「非価格要素審査」及び「価格審査」で構成され、非価格要素審査及び価格審査については、事業者審査会において提案内容を評価・審査する。その結果を受けて、本市が優先交渉権者を決定する。

募集要項の公表から事業契約の締結に至るまでの流れは、図1に示すとおりである。

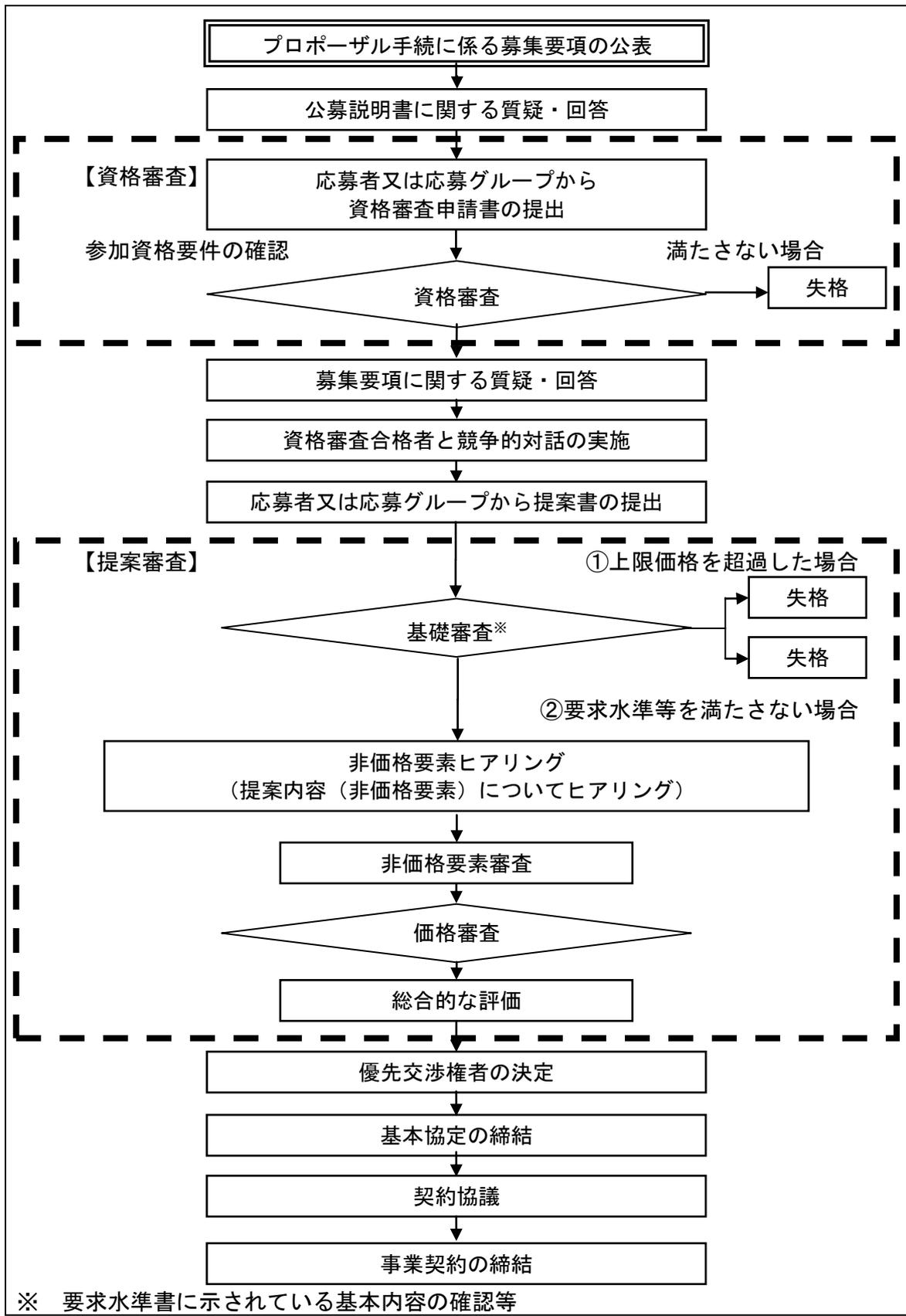


図1 事業者の選定フロー

1) 資格審査

応募者より提出された資格審査申請書等から、応募者が参加資格要件を満たしていることを確認し、結果に応募者に対し通知する。なお、参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2) 提案審査

(1) 基礎審査

資格審査に合格した応募者から提出された提案書類について、要求水準書等に示された性能要件を満たすものであること及び事業としての妥当性を有していることの審査を行う。

以下に、基礎審査における視点を示す。なお、上限価格を超過している場合及び要求水準書等に示す基準を満たしていない場合は失格とする。

①提案書類の審査

- ア. 必要である提案書類が揃っているか
- イ. 提案書類において書類間での整合が図れているか

②提案書類と要求水準書の適合性

- ア. 要求水準を満たした技術提案がされているか
- イ. 業務計画書内の金額の整合が図れているか
- ウ. 要求水準書及び契約条件を遵守しているか

(2) 非価格要素審査

非価格要素提案書及び業務計画書の提案内容を以下に示す観点から評価し点数化する。なお、審査にあたりヒアリングを実施する。

①事業全体に関する事項

- ・事業実施体制の考え方
- ・事業の監視及びリスク管理の考え方
- ・事業収支計画の考え方

②基幹的設備改良工事に関する評価事項

- ・二酸化炭素排出抑制の取組への考え方
- ・工事工程及び工事期間中のごみ処理の考え方
- ・安全対策に関する考え方

③長期包括運営委託に関する評価事項

- ・環境保全対策の考え方
- ・施設運営計画の考え方
- ・維持管理計画の考え方
- ・事故及び災害対応の考え方

④地域貢献に関する評価事項

- ・地域貢献への考え方

(3) 価格審査

価格提案書に記載された金額が公募説明書に記載する上限価格の範囲内であることの確認を行い、提案価格を点数化する。

(4) 総合的な評価

(2) の「非価格要素審査点」と (3) の「価格審査点」を加えて評価点を算出し、優先交渉権者を選定する。また評価点の最も高い点数の者が2人以上あるときは、くじ引により優先交渉権者を決定する。

$$\text{評価点} = \text{非価格要素審査点} + \text{価格審査点}$$

なお、非価格要素審査点の満点を60点、価格審査点の満点を40点とし、合計100点満点とする。

4. 非価格要素審査及び価格審査における点数化方法

1) 非価格要素審査における点数化方法

非価格要素審査点の配点は60点とする。以下に示す各評価項目の得点の合算を非価格要素審査点とする。評価項目及び配点、採点基準を以下に示す。

なお点数は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

(1) 評価項目と配点

評価項目及び配点は、表1のとおりとする。

表1 非価格要素評価項目

評価項目	評価の視点	配点		
①事業全体に関する事項				
事業実施体制の考え方	・本事業を確実に実施するための体制について、代表企業、構成員、協力企業はそれぞれの経験、実績に基づいた適切な役割分担で計画されているか	5	15	点
事業の監視及びリスク管理の考え方	・事業の実行可能性を担保するための事業監視体制（セルフモニタリング等）が適切に計画されているか ・事業期間中におけるリスク管理（想定されるリスクとその対応が適切に把握）が計画されているか	5		
事業収支計画の考え方	・事業期間における安定した収支計画について実行可能性のある適切な提案がなされているか ・SPCへの資金面での支援体制が適切に計画され、安定した事業が行える計画が示されているか	5		
②基幹的設備改良工事に関する評価事項				
二酸化炭素排出抑制の取組への考え方	・二酸化炭素排出抑制に対して、実行可能性のある適切な提案がなされているか ・発電量（計画）について、実行可能性のある適切な提案がなされているか	5	15	点
工事工程及び工事期間中のごみ処理の考え方	・焼却施設は令和6年1月中の引渡しに向けた具体的な工事工程及び工程短縮に向けた合理的な提案がなされているか ・リサイクルプラザの基幹改良工事期間中、ごみ処理ができない期間を最小化する合理的な提案がなされているか ・焼却施設に搬入される下水汚泥について、具体的な悪臭抑制対策などが図られた具体的な提案が示されているか	5		
安全対策に関する考え方	・工事期間中における場内・場外の安全対策及び仮設計画等について適切な提案がなされているか ・工事車両、搬出入車両及び一般車両等に配慮した動線計画について適切な提案がなされているか	5		
③長期包括運営委託に関する評価事項				
環境保全対策の考え方	・市民から信頼される施設を目指した環境保全対策について優れた提案がなされているか ・最終処分量の削減に向けた飛灰処理物の低減対策について優れた提案がなされているか	5	25	点
施設運営計画の考え方	・運営期間中における安定的・経済的な施設運営を行うための取り組みについて適切な提案がなされているか ・確実な運営体制を確保するための長期的な職員の雇用計画及び教育計画等について適切な提案がなされているか	5		
維持管理計画の考え方	・令和26年度（2044年度）の施設廃止を見据えて、費用対効果を勘案した適切な維持管理計画が組まれているか	5		
事故及び災害対応の考え方	・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法（BCP計画の策定等）が計画されているか ・災害ごみ発生時における施設での対応方法（災害廃棄物の受け入れ・処理）について優れた提案がなされているか	10		
④地域貢献に関する評価事項				
地域貢献への考え方	・市民の雇用や市内企業の活用に配慮した提案がなされているか ・積極的に地域住民との交流を目指した優れた提案がなされているか	5	5	点
		60 点		

(2) 評価項目の採点基準

各評価項目において、次に示す5段階により評価、点数化する。

評価	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	項目ごとの配点×1.00
B	AとCの間	項目ごとの配点×0.75
C	優れている	項目ごとの配点×0.50
D	CとEの間	項目ごとの配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	項目ごとの配点×0.00

2) 価格審査の点数化方法

価格審査点の配点は、40点とする。

価格審査点については、以下の方法で得点を算定する。

なお、点数は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

【価格審査点の算出式】

$$\text{価格審査点} = 40\text{点} \times \frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}}$$